



防府市文化協会だより

防府市文化協会
(防府市文化財郷土資料館 3F)
TEL/FAX 26-6841

平成29年度 総会

平成29年6月17日 (土) 13:00～
防府市文化福祉会館にて



会長挨拶



祝儀舞

長唄小曲「吾妻八景」
立方 若柳吉冬貴



市長祝辞



表彰式

①平成 28 年度市民文芸表彰



②平成 29 年度文化振興奨励賞表彰
(個人、団体)



理事会報告



総会風景

平成二十八年年度事業及び決算報告
平成二十九年度事業計画及び予算
平成十九年度～平成二十三年度の五年間副会長、平成二十四年～平成二十八年の五年間市民文芸川柳部門選者として就任して戴いた新山王哲様と会長職を六年間就任された前会長岡田利雄様二名に、感謝状と記念品が手渡された。会長挨拶では、「来年度は防府市文化協会設立二十周年にあたることから、さらなる会員の皆様のお力添えを頂きたい。」とお話があった。最後に防府民俗芸能連盟所属団体による西浦音頭保存会による西浦音頭が披露され、無事終了した。

生活文化部門

原田 紅月



昭和 32 年より 60 年いけばな小原流に尽力。平成 22 年財団法人小原流防府支部支部長に就任。平成 22 年～23 年防府市華道連盟会長及び防府市文化協会常任理事就任。平成 27 年第 9 回山口県議会議員賞受賞。市役所ロビー、英雲荘、県庁ロビー等でのいけばな展示奉仕活動をおこなっている。

邦楽部門

山野安珠美



沢井忠夫、沢井一恵の両氏に師事。第 4 回全国高校生邦楽コンクール第 1 位受賞。第 9 回長谷松校記念全国邦楽コンクール優秀賞受賞。平成 7 年度「防府の文化を高める会」特別奨励賞。平成 19 年度山口県芸術文化振興奨励賞受賞。平成 28 年度エネルギー音楽賞受賞。海外公演は 30 カ国に及ぶ。邦楽の世界にとどまらず幅広い演奏活動を展開。また、学校や地域施設への出張公演、ワークショップなど、邦楽の普及にもつとめている。

映像部門

西村 一



平成 8 年 4 月、防府映像サークル創立来のメンバーです。会の運営を円滑に進めて、会員の交流に地道に貢献されています。

美術部門

岡田 博幸



1965～66 年、山口県美術展覧会(県議会議員賞・県教育委員会賞)、モダンアート展毎回出品。1988 年、モダンアート協会会員推挙(現山口支部長)徳山市文化奨励賞受賞。1990 年、山口県芸術文化振興奨励賞受賞。2014 年～2016 年、防府市文化協会常任理事就任。現在は、モダンアート協会山口支部長、防府市美術連盟会長、防府市文化振興財団理事就任。ペルーや中国など海外の美術館等に作品が所蔵されている。東京を中心に 44 回の個展活動を続け、防府市美術展・秀作展の開催に献身的に尽力されている。

歴史部門

田村 京子



昭和 40 年から現在まで、50 年余りに渡って望東尼の顕彰活動に尽力。平成 8 年には、防府野村望東尼会理事、平成 14 年からは、同会副会長として現在に至る。平成 28 年に野村望東尼の顕彰活動として開催された 150 回忌記念事業においては、献身的にご尽力され、同会の存続と更なる発展につながられた。

△団体▽



文芸(俳句)部門

防府市俳句協会

発足日 昭和 56 年 8 月 30 日

代表 伊藤 仙女



民俗芸能部門

天神おんな神輿の会

発足日 昭和 62 年 10 月 24 日

代表 平川 由野

△個人▽

平成二十九年度防府市文化振興奨励賞授賞者紹介

平成二十八年年度 市民文芸表彰者

◎ 川柳の部

- 市民文芸賞 醉貝 城尾 公美
- 年度賞 岡村町 松村 玲子

- 田島 山根 利正
- 新田 坪郷英美子
- 田島 田邊千寿子

◎ 俳句の部

- 年度賞 醉貝 阿部あけ美

- 宮市町 村瀧 富子
- 華城中央 三戸志津江
- 鈴屋 江山 豊
- 自由ヶ丘 春吉 智子

◎ 短歌の部

- 年度賞

- 佐野 余園 岡子
- 天神 賤間由美子
- 大道 山田 槌登
- 江泊 石井 弘一
- 仁井令 山本ヨネコ

◎ 自由律俳句

- 市民文芸賞 奈美 倉床 節子
- 市民文芸賞 伊佐江 清水 俊子
- 市民文芸賞 今市町 河野 榆平
- 年度賞 岡村町 倉重 遥代
- 警固町 白石 祥子

平成二十八年年度 市民文芸賞 講評

「母の手は主婦の歴史を感じさせ」

城尾 公美

節々は少し太い手なのでしょうネ。少し指先の方は、さくくれているのでしょうか？

子育てをすませ、家事をこなし、畑仕事も懸命になさった方でしょう！

本当に歴史を読みとる手なのでしよう！

「郵便受けコトンと鳴って今日が始まる」

倉床 節子

いつだったか友人が「新聞を配達して下さる方がよく見えるように、毎朝外灯を点けて待っているのよ」と話してくれました。

あゝ新聞が届いたわ、さあ取りに行きましょうか…。

今日の始まりをそっと待っている細やかな心が見え隠れする句です。



「夕陽をひとりじめしてあるく」

清水 俊子

散歩の途中でしようか。ふと見上げると、もうすぐ山の端に隠れようとしている夕陽が目に入ったのですね。

まわりにはだれもない。思わず夕陽をひとりじめにしてしまった清水さんの大きな背中が目に浮かびます。

「握った湯呑みと眠っている」

河野 榆平

手にある湯呑みには何が入っていたのでしょうか。

ふと気がつくと湯呑みをにぎったまま眠っておられたのですね。

日常をいかに伝えるか、ふとしたつぶやきをどのように詠うか。こんなのどかなひとときも句になるということを教えていただきました。



防府市文化協会 加入会員の紹介

自由律俳句大会

防府市民自由律俳句の会

「市民自由律俳句大会」を始めて十一年目を迎えました。十年ひと昔と申しますが、今は亡き田中睦子さんの熱心な働きかけでスタートしたのを昨日のように思い返しています。俳句や短歌等諸先輩の文芸には、長い歴史がありますが、本会はまだまだひよこ。しかし、市広報の文芸欄にも掲載していただき、お陰様で、広く自由律俳句を愛してくださる方々が増えて参りました。

尾崎放成らとともに自由律俳句を模索した山頭火は防府市出身の俳人、彼の一生は放浪に始まり、放浪に終わりましたが、日々の日記をきちんとつけて、その中から「これは！」という言葉は何回も何回も推敲し、数々のすばらしい句ができたのです。

にもかくにも、ふっと生まれた「つぶやきを書いてみる」ということをしなければ句はできないのです。

尾崎放成「咳しても一人」

種田山頭火「まつすぐな道でさみしい」
小学校の教科書には山頭火の句が紹介されています。第十一次大会には学生の部（小・中・高校生）の投句がおよそ五百句寄せられました。

十月にはいよいよ「山頭火ふるさと館」が開館します。自由律句が広く、長く市民の皆様に愛され、全国へと広がっていきますよう願って、これからも活動して参ります。



フラダンスの普及とレベル向上！

ナイトフライイベントを開催

イクエフラPDC 代表 福田 育恵

八月二十六日十六時から二十一時、ルルスス防府わっしょい広場で記念すべき第一回「ナイトフラ&ハワイアンフェスタ」を開催しました。「本会」は、事務局をフラダンスの仲間づくり、会の経費はナイトフラ出演者の出演料をもって充てる運営をしました。開催目的は、踊り手の出演者に少ない予算で負担をかけず、フラダンスの普及とフレベルを上げていきフラ文化を高めるためです。昔、歌われました「憧れのハワイ航路」のように今も昔も同じ。日本人にとってハワイは憧れの地だと思えます。ハワイアンミュージックが心地よく身を任せると自然と街を明るくし、元気を与えます。外での開催に不安もありましたが、当日は優しい風が吹き爽やかな夜の防府はハワイと同じ空気が漂っていました。お客さんも踊り手も大満足。優しさ、寂しさ、楽しさ、すべてに愛があり防府の街が明るく輝いていたと思えます。開催にあたり多くのボランティアを始め関係各位に感謝です。近年、防府以外でのフラのイベントが沢山増え防府の人が他地区へと行かれるので、なんとしてでも防府でフラのイベントを開催しました。防府で今回ナイトフラ開催が成功となり皆さんに楽しんでいただき最高に良かったです。



楽しい日本舞踊

若柳吉冬貴の会 会主 若柳 吉冬貴

日本舞踊若柳流「吉冬貴の会」は、前身の「柳貴会」設立から今年で三十周年を迎えます。子供から八十五歳までの会員たちが、古典舞踊をはじめ、新舞踊、民謡舞踊を学んでいます。会員たちで県内の文化祭や芸術祭、防府天満宮の奉納邦楽演奏会への出演や高齢者施設の慰問などをしています。一昨年は下関の先帝祭にも参加しました。

今年、防府市立右田小学校の正課クラブで指導する機会もいただきました。参加者は四年生から六年生の二十人です。初回は礼儀作法、着付け、流派の説明をし、二回目では、踊りの基本を稽古することで美しい立ち居振る舞い、所作を学んでもらいました。皆さん、とても覚えが早く、楽しく踊ることができました。

日本舞踊は、性別や年齢にとらわれず色々な役を演じられ、齢を重ねても楽しく携わることができるとは、伝統芸能です。会員たちは日舞を通して、技だけでなく、心と体を充実させるため、日々励んでいます。未経験の皆様も一度、日舞にふれてみませんか。お待ちしております。

これからも会員一同、防府市の文化芸術の振興と文化の薫り高いまちづくりに、微力ながら頑張りたいと思います。



防府岳誠会創立五十周年を迎えて

会長 古屋 慶岳

昭和四十二年、岳誠流日本吟道防府岳誠会が発足いたしました。この度五十周年を迎えるにあたり、活動を振り返るとこの上ない喜びと共に、これまでの諸先輩方の歩みに想いを馳せ感無量で御座います。

防府岳誠会の全盛期には会員総数三百人を超える時もありましたが、昨年の少子高齢化と趣味の多様化等の社会背景に伴い、現在十五教場、会員六十余名にて活動しております。日本古来より伝わる詩吟（漢詩、和歌、俳句等）を学び、歴史に思いを馳せ、先人の志や魂の叫びを後世に継承していくよう、全会員が一堂に会して初吟会、夏季発表会、秋季発表会にて練習の成果を發揮し会員相互の和を深めております。

又、防府詩吟連合会にて建国記念吟詠大会、観月会に参加し、防府邦楽舞踊連盟に於いては防府市民文化祭、邦楽の会へも参加しております。岳誠会の流（りゅう）は素朴、気魄、気品を念頭に礼と節を重んじ、詩吟を通じて地域文化向上の一端を担えるよう活動の場を広げて参りたいと存じます。今後共変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



天神おんな神輿の会

心をひとつに「ソイヤー！」

平川 由野

このたびは防府市文化振興奨励賞をいただきましてありがとうございます。天神おんな神輿の会は昭和六十二年に発足し、防府天満宮御神幸祭の昼間を「梅っ子」のお囃子演奏を先導ににぎやかに盛り上げてまいりました。毎年、市内外から、二百名近い担ぎ手が参加、平成二十六年からは「土曜日の裸坊、日曜日のおんな神輿」ということで日曜日に奉納しております。おかげさまですっかり定着し、やまぐちきらら博、国民文化祭やまぐち、世界スカウトジャンボリー山口大会などでも神輿振りを披露してまいりました。平成二十七年からは「春の幸せますフェスタおんなみこし連合渡御」の手伝いもさせていたいております。県内外各地の担ぎ手たちと、衣装の着こなしや担ぎ方の違いをも楽しみつつ心を合わせての巡行は神輿が取り結ぶすばらしいひとときです。

「御神幸祭をすまさんと正月は来ん」防府最大の祭りの一端を担う光栄をかみしめ、ご支援ご声援くださる方々への感謝を忘れず、担ぎ手とともに楽しく元気に奉仕できるようこれからも努めてまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



サルビア・コール

女声合唱団

“楽しいコーラス”

代表 幡部 千賀子

私たちサルビア・コールは、防府市文化福祉会館の教養講座の一つとして発足し、防府市の花“サルビア”にちなんだ女声合唱団「サルビア・コール」として約半世紀にわたって歌い続けています。現在団員は三十八名。結団当初からのメンバーも多く活動されており、平均年齢は悠に七十歳を超えています。みんな活気に満ち、週に一度の練習を心待ちにしています。生活にリズム感を持ち、心地よい緊張感の中、音楽のすばらしさを体感しています。

今年の大きな行事は、「四十五周年記念コンサート」の開催です。本団は五年おきに節目のコンサートを開催しています。今回も各々が自分の得意分野を生かしつつ、皆様にコーラスのすばらしさを届けたいと日々活動を続けています。毎年の活動としては、天神ピアのサマーコンサートや佐波公民館の文化祭に参加し、音楽を通じた交流をさせていただいています。その他市内、県内の女声合唱団との交流を通して、お互い良い刺激を受けつつ、研鑽を積んでいます。私たちはこれからも、楽曲のもつ心や音楽のすばらしさをかみしめつつ、健康で楽しく歌い続けたいと思います。



夢デザイン塾

「コミュニケーションで

町を明るく！」

桑原奈緒子

夢デザイン塾は、昨年発足したばかりの、小さなグループです。活動は二つ。高校生を対象として、一人少人数でのワークショップを不定期で開催。高校生という多感で難しい時期のみなさんのお話、悩みを聞きしたり、未来に向けての夢や目標を持つことの意味、自ら考え行動していくために必要な知識、心構えを学んでもらいました。講師は、国際コーチ連盟の資格をもつ会員が今のところ担当しています。

もう一つの活動は、会員の勉強会です。コーチング、心理学を学び、人を支援し、やる気を引き出すコミュニケーションができるように、実践していくことをめざしています。コミュニケーションがうまくいっている場（家庭、学校、職場など）は、人が明るくいいきいきと活動できます。大人がコミュニケーションを学び、子供たちの夢を応援することで、防府の町の未来も明るくなるように願って活動していきます。

この一年で、八名の高校生さんとお話をお聴きしたり、ワークショップで学んだりしました。参加された方はそれぞれ、より積極的に自分の勉強、部活など将来に向けて取り組まれているようです。勉強会は、ほぼ月一回、三〜五名で実施します。まだ始めたばかりで手探りですが地道に続けていきたいと思っています。

防府市文化協会支援事業部会は、防府市内に所在する企業及び個人等が参加して結成する組織で、防府市内で実施する文化・芸術等の活動を支援し、市民の文化・芸術の向上を図るとともに、潤いのあるまちづくりに貢献することを目的としています。

具体的には、防府市に在住する団体及び個人の方が、防府市で開催する文化・芸術等の活動に対する助成を行います。

申請期間は、六月末と十一月末の年二回です。審査は、市民文化活動支援事業部委員により、七月と十二月にあります。指定の申請書がありますので、希望される場合は、防府市文化協会事務局まで、お気軽にお立ち寄りください。併せて、市民文化活動支援事業部会の趣旨に賛同し、防府市内の文化・芸術の振興にご尽力下さいます、防府市内の企業・個人の方を会員として広く募っております。年会費は一万円です。

特典として、文化協会主催行事である洋舞フェスティバル・邦楽の会が無料にてご鑑賞頂けます。

平成二十九年年度

第一回支援事業部会
審査会報告

(一)平成二十九年年度 申請第一号
お手廻り道具保存修理事業
・・・防府天満宮お手廻り(仮)保存会
助成決定額・・・四十万円

(二)平成二十九年年度 申請第二号
防府民俗芸能連盟「西浦音頭」保存会出演経費
・・・防府民俗芸能連盟
助成決定額・・・三万円

(三)平成二十九年年度 申請第三号
「語りつぐ藍と愛―檻樓・ぼる展」
・・・藍と愛の会
助成決定額・・・二十万円
助成決定額合計・・・六十三万円

助成団体の声

防府の先人『上山満之進の精神』をいかに現代に活かすか

第一回地域公開フォーラム

―台湾との友好を目指して―

上山満之進に学ぶ会

事務局長 上山 忠男

平成二十八年十二月十一日(日)、防府グランドホテルにおいて、講演では

* 上山満之進の足跡 児玉 識 元龍谷大学教授

* 陳澄波と防府市所蔵作品

『東台湾海岸道路』について

李淑珠 明志科技大学副教授

右、二つの講演とこのほか、三つのテーマで発表がありました。

最初は、今日忘れられていますが、私財を投じて図書館を建築し『三哲文庫』として市に寄附した『上山満之進』の防府に残した数々の功績について講演されました。

続いて上山満之進の依頼で台湾画家 陳澄波が、製作した絵画の制作過程や当時台湾総督であった上山満之進との関係が実例を挙げて講演され、この絵について新しい情報が得られました。今は福岡に寄託中の絵画が返還後、台湾との友好の懸け橋になることを期待しています。

この活動はひとえに、防府市文化協会支援事業部のお陰で感謝しています。是からも支援事業部を活用し「上山満之進 陳澄波の歴史・文化」を発信してまいる所存です。



西浦音頭の役割

西浦音頭保存会副会長

徳本 榮子

平成十二年、西浦農村公園において、第一回潮留祭が開催され、その場で「県道防府環状線新佐川大橋が完成すると、他市からも多くの人が西浦を訪れるようになるであろう。これをきっかけにする」とを代表し、みんなの心を一つにするような音頭を作ろう」と制作気運が高まりました。平成十三年に地域住民への公募で歌詞が決定し、翌年に曲、振付が完了して西浦小学校で音頭制定発表会が開かれました。平成十九年に西浦音頭の普及を図るため、西浦音頭保存会が設立されました。会員は自治会の女性部長で構成され、盆踊り大会前には、JA駐車場で練習し、盆踊り大会、敬老会、西浦まつりで披露しています。又、小学校にも講習に出向き運動会でPTA、児童と一緒に踊り楽しんでいきます。西浦音頭は、地域のみならず歌い、踊り、楽しむことにより地域の誇りを感じ、住む人の心を一つにし、文化を継承する役割を担っています。今後も防府市民俗芸能祭等で披露する機会があれば幸いです。



防府市文化協会設立二十周年を

迎えるにあたって

防府市文化協会 会長 岡本 早智子

防府市文化協会は、平成十年六月に、前身の「防府の文化を高める会」から事業を受け継ぎ、特に市民の創意と工夫に基づく新しい文化活動を促し、発展させる団体として、誕生しました。早いもので、来年（平成三十年）六月には、設立二十周年を迎えますが、この間に当協会が、県内各市の中でも、下関市に次ぐ第二位の規模の団体に発展して来たことは、歴代の役員や会員のみならずのご努力とご研鑽の賜だと、心から敬意を表するとともに、ご同慶の至りです。ついではこの節目の年に、設立二十周年記念事業を実施しようと、去る八月二十九日に、当協会の常任理事を執行委員とする「防府市文化協会設立二十周年記念事業実行委員会」が発足し、第一回実行委員会では、次のような記念事業の概要について、話し合われました。

- (一) 平成三十年度総会・設立二十周年記念祭の開催（平成三十年六月二十三日、アスビラート三階音楽ホールで開催）
 - (二) 記念誌『防府市文化協会二十年のあゆみ』の刊行・配布
 - (三) 小冊子『防府の民俗芸能をたずねて』の改訂版の編集・作成・配布
 - (四) 小冊子『防府の生んだ癒しの自由律俳人山頭火』の改訂版の刊行・配布
- 今後は、それぞれの事業を具体化していくこととなりますが、会員・市民のみならず、これらの方々の事業をよりよいものにするために、ご意見、ご要望等何でも、お気軽に防府市文化協会事務局へお聞かせ下さるよう、よろしくお願いたします。

地区文化祭開催予定

地区文化祭開催日一覧			
公民館名	開催日	場所	開始時間
富海	11月5日(日) (予定)	富海公民館	9時
牟礼	10月15日(日)	牟礼公民館	9時
勝間	10月28日(土) 29日(日)	勝間公民館	28日 13時 29日 9時45分
松崎	11月12日(日)	松崎小学校	9時30分
華浦	10月28日(土) 29日(日)	華浦公民館	28日 13時30分 29日 9時
新田	10月29日(日)	新田公民館	10時
向島	11月4日(土) (予定)	向島公民館 向島小学校	9時
中関	11月12日(日)	中関小学校	8時30分
西浦	11月5日(日)	JA防府とくち 農協西浦支所 西浦公民館	9時
華城	11月18日(土) 19日(日)	華城公民館	9時
佐波	11月2日(木) 3日(金・祝)	佐波公民館	2日 18時30分 3日 9時30分
小野	11月12日(日)	小野小学校	9時
右田	10月22日(日)	右田公民館	9時
大道	11月12日(日)	大道小学校	9時
野島	10月29日(日)	野島小中学校	9時30分

どうぞお誘い合わせの上お越し下さい。
※詳細については、各公民館へ
お問い合わせ下さい。

防府市が東京五輪でセルビア国の ホストタウンに

委員 岡本 早智子

防府市ホストタウン推進事業実行委員会

防府市は、昨年六月、『東京オリンピック・パラリンピック競技会』のホストタウンとして、国に登録されました。

ホストタウンの取組みは、開催都市東京だけでなく多くの地方自治体が、参加国の中から国や種目を特定して、歓迎・応援し、東京大会を成功させようとするものですが、この間の人的・経済的・文化的な相互交流等の取組みにより、スポーツの振興、教育文化の向上、共生社会の実現等が進み、地域の活性化が期待されます。

防府市は、セルビア共和国の男女バレーボールチームのホストタウンとなりました。

昨年八月には「防府市ホストタウン推進事業実行委員会」が発足し、市内の多くの関係機関・団体が参加して、ホストタウンの活動が始まりました。平成二十八年度の活動についてご紹介すると、次のとおりです。

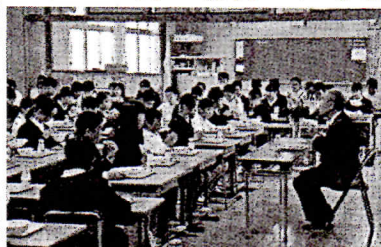
○セルビア料理の給食会（牟礼小六年生と市長との学校給食会、平成二十八年十一月八日（火））

○「セルビア、バレエ、日本」ポスター募集と表彰（駐日大使の招へい時に表彰）

○パラリンピアンとの交流『道下美里選手の学校訪問』（華陽中、右田中、平成二十八年十二月十九日、各五十分生徒からの質問に答えて）

○セルビア給食の実施（市内中学校八校で実施）

今後、ますます充実した活動となることを期待しています。



山頭火ふるさと会

会長 窪田 耕二

十月七日、防府天満宮前に、漂泊の俳人種田山頭火を顕彰する「山頭火ふるさと館」がオープンすることになりました。

江戸時代の松尾芭蕉、小林一茶、そして明治に入ってから正岡子規、高浜虚子まで著名な俳人の中で、防府生まれの自由律俳人種田山頭火が、今も不思議な存在感で山頭火句集の売れ行きは俳句関係の本の売れ行きでトップランクという大きな人気を保っています。

山頭火は俳句だけでなく、随筆、短歌、詩、日記も多く残しており、特に日記文学ともいえる昭和五年から昭和十五年までの十年にわたる日記の存在は、山頭火文学の主流ともいえます。

山頭火の漂泊、放浪の旅は幼年期、母の自殺で断ち切られた魂の故郷を求めての行脚だったともいえます。家族、友人関係、地域のつながりが薄くなり、ある意味で現代は故郷感が急速に喪失している時代といえます。山頭火句の燃えるような故郷欣求の魂の響きが、人の心を魅了しファンを増やし続けているのでしょうか。巡礼詩人として魂の彷徨をしながら、大自然をテーマに、ふるさとを想い、家族を思い、さみしい、ひとり、あいたい、望郷を詠んだ心に響く、わかり易く、ほっとする、癒される、元気をくれる詩人山頭火の発信力が、人気を支える秘密だと思います。

山頭火の創作活動の歴史をつうじて、俳句、短歌、詩、文学など、創作の楽しさ、よろこびを市民の皆さんに伝えるいろいろな企画が用意されています。是非、足を運んでいただきたいと念願しています。

防府市文化協会 後援を受けた団体の活動情報

日時	行事内容	場所	入場料
10月1日(日) (10:00~14:30)	第46回防府市民短歌大会	防府市文化財郷土資料館 講座室	応募料: 1首につき1,000円
10月1日(日)~2日(日) (10:00~16:00)	池坊防府支部花展	アスピラート2階	無料
10月4日(木) (18:30~21:00)	市民に贈る吹奏楽の夕べ2017ブリヂストン吹奏楽団久留米コンサート	防府市公会堂	全席指定500円 (3歳未満入場不可)
10月7日(土) (10:00~)	山頭火ふるさと館開館記念式典事業	山頭火ふるさと館ほか	大人300円 子ども150円
10月14日(土) (13:00~)	市民川柳大会	防府市文化財郷土資料館 講座室	1,000円
10月21日(土) (14:00~16:00)	第19回マンドリンとギターの集い	アスピラート	500円
10月29日(日) (9:30~)	防府岳誠会創立50周年記念大会	アパホテル内2階	無料
11月23日(木) (14:00~16:00)	45周年記念 サルビアコールコンサート	アスピラート	500円
12月9日(土) (12:45~16:30)	第25回全国山頭火フォーラム	アスピラート音楽ホール	1,000円

天神ピア・サマーコンサート

「文化活動が街づくりに…」

文化協会常任理事 桑原 一朗

中心市街地の交流人口を増やして「にぎわい」を創出する事を目的に、天神銀座街の「天神ピア」は、市民活動やグループ活動、まちづくり活動の「活動・発表の場」に開放されている。

平成二年「七月の一月間、毎日コンサートを開催し、月末の「防府まつり」に繋ごう」と、第一回「天神ピア・サマーコンサート」が発足した。

初年度の開催の為、出演団体の募集が始まったが、数が足らないと言う事で、言い出しつべの責任として、HCBカウントエースが穴埋めの為七回出演して、一か月の連続コンサートが何とか始動した。

翌年から、回を重ねるごとに、参加希望団体は増えた。十五回目の今年の出演団体数は、三十三団体に加えて金曜日は「花金コンサート」として、会議所の提供のプロのステージとなっている。

器楽演奏・歌やコーラス・ダンス。ポピュラーからクラシックまで、音楽ジャンルは幅広い。

発足当時の商工会議所副会場で観光協会会長であった大村敏雄会長をはじめ歴代の商工会議所の担当者のお陰で、「天神ピアサマーコンサート」は市内恒例の夏の行事・街中賑わいのイベントに成長した。

参加出演団体は勿論のこと、お目当ての出演団体の応援観客、ふらっと立ち寄られた観客の方々、みんな一体となって楽しいひと時を過しています。

やまぐち文化プログラム協賛事業 第四十八回防府市民文化祭

行事名	とき	ところ	入場料
盆栽展	10月14日(土) 15日(日) 9時～15時	防府市公会堂	無料
第22回ビデオ作品上映会	10月22日(日) 13時30分～	イオンシネマ防府	無料
第28回洋舞フェスティバル	10月22日(日) 13時～16時30分	防府市公会堂	300円
市民音楽祭	10月29日(日) 13時～16時30分	アスピラート	無料
邦楽の会	11月5日(日) 10時～16時	防府市公会堂	500円
華道展	11月10日(金) ～12日(日) 10時～17時	アスピラート 2階展示ホール	無料
市民茶会席	11月10日(金) ～12日(日) 10時～16時	アスピラート 2階リハーサル室	席料 300円
健康相談	11月11日(土) 12日(日) 10時～15時	アスピラート 2階リハーサル室	無料
第67回市美術展	12月6日(水) ～10日(日) 9時～17時 但し6日のみ 10時～17時	アスピラート 2階展示ホール	無料

防府市立 中学校の 文化祭日程

- 十月二十二日(日) 防府市立富海中学校
- 〃 牟礼中学校
- 〃 国府中学校
- 〃 野島中学校
- 十月二十八日(土) 〃
- 十月二十九日(日) 佐波中学校
- 〃 小野中学校
- 〃 大道中学校
- 十月二十九日(日) 〃
- 〃 桑山中学校
- 〃 華陽中学校
- 〃 華西中学校
- 〃 右田中学校



常時文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

《年会費》

- 団体会員(第一号会員) 三千元
- 個人会員(第二号会員) 千五百円

《会員の特典》

- *個人会員
 - ①年一回の主催事業への無料招待及び割引招待
- *団体会員
 - ①加入団体の各種行事に対する文化協会の共催・後援
 - ②文化福祉会館・公民館の施設(文化福祉会館大会議室を除く)月一回一区分無料利用

ただし、電気代等実費利用分は有料となりますので、申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》

「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿(氏名のみ)を必ず添付してください。

《期限》

年度の4/1～翌3/31までの一年間(年度ごと更新)

《問合せ》

防府市文化協会事務局
(防府市文化財郷土資料館三階)
TEL/FAX:二二六八四二
※申込書は、市文化・スポーツ課のホームページからダウンロードできます。

編集

- 委員長 窪田 耕二
- 委員 竹尾耶衣子
- 〃 佐藤 文彌
- 〃 高橋 瑞峯

発行

千七四七〇八〇八
防府市桑山二丁目一―一
防府市文化財郷土資料館
三階 防府市文化協会
TEL/FAX〇八三五
(二六) 六八四一
平成二十九年九月

編集後記

歴史と文化のまち防府市、恵まれた環境の中で多くの芸術家、文学者、アーティストを輩出しています。市民がそのことを知り、そして誇りに感じる地域が、地域の活性化につながっていきます。今回、オープンする山頭火ふるさと館も、防府市の文化芸術活動を力強く発展させる大きな推進力になると思います。そして防府市文化協会だよりが、その一助となるように希望しています。

